

信州、木祖村、源流の里

間伐材で作る

糸ノコおもちゃコンテスト 作品募集！！

第4回

募集期間 2009年5月1日～10月2日

作品受付期間 2009年9月1日～10月2日

今年は1点500円、1人5点まで応募できます！！詳細は裏面

君の作品を待っている！



2008年度大賞作品



2008年度こども大賞



blogも
あるよ

コンテストの授賞式、作品展示は
2009年10月11日(日)に
長野県木祖村の「こだまの森」
糸ノコおもちゃフェスティバル会場にて！

入賞賞品がさらに豪華になりました！！(株)ユタカ提供！！



自動カンナMS330GT
(集塵機能搭載、2枚刃)



YUTAKA系のご機械YSC-500

系のご機械YSC-500
系のご機械YM-320F
系のご機械YC-50F
系のご機械YA-50F
中型木工旋盤
自動カンナMS330GT
その他にも、コテージ宿泊券
木のおもちゃ、木材、野菜などの
多数の賞品を用意しております！！

主催：水の始発駅フォーラム 共催：糸ノコおもちゃコンテスト実行委員会、奥木曾グリーンリゾート(株)
後援：木祖村、木祖村教育委員会、木曾地方事務所、水資源機構味噌川ダム管理所、(有)源流
協力：ナルカリクラフト、森の遊子(木曾町ギャラリー)、工房Coo(みはらしファーム)
協賛：(株)ユタカ
お問い合わせ/長野県木曾郡木祖村藪原 木祖村役場内「水の始発駅フォーラム事務局」
TEL 0264-36-2001(土日祝祭日を除く8時30分から17時まで) FAX 0264-36-3344
木祖村観光協会HP <http://kankou.kisomura.com/> メール shihatsueki@kisomura.com
糸ノコおもちゃコンテストblog <http://itonokofes.cocolog-nifty.com/>

第4回 間伐材（かんばつざい）で作る 糸ノコおもちゃコンテスト 応募要項

応募期間2009年5月1日～10月2日

作品受付期間2009年9月1日～10月2日

本年度は1人5点
（カラマツ、ヒノキ あわせて5点）まで
応募できます。

応募代金を1点500円に統一します。

作品テーマ：自由

作品点数1人5点まで（ヒノキ、カラマツあわせて5点）

応募代金：1人につき500円（作品の応募、返却にかかる郵送費などは応募者の負担です）

応募資格：年齢制限はないので、どなたでも応募できます。

応募条件

- ・10cm×10cm×1.5cmのカラマツかヒノキ（申し込み確認後に事務局より発送）の間伐材を素材とした木のおもちゃ。
- ・同梱の車輪と軸棒の使用は自由とする
- ・電動糸ノコ機械を必ず使用すること。
- ・材料と同封されている製作における注意事項を厳守すること。

応募方法

応募期間：平成21年5月1日～10月2日

郵便振替の払込取扱票で振り込んでください。

・口座番号：00570-4-96181

・加入者名：木曾川水の始発駅フォーラム

・通信欄に住所、氏名、年齢、電話番号、応募点数を明記

作品1点につき500円振り込んでください。

（払込料金は応募者負担）

現金書留の応募も受け付けます。

（住所、氏名、年齢、電話番号、応募点数を明記）

入金確認後、材料と必要書類を明記

作品の搬入について

・送付された材料を使って作品を作り、完成作品を郵送か持ち込みで事務局へ届けて下さい

・搬入期間：平成21年9月1日（火）～10月2日（金）

作品展について

・作品展：10月11日（日）～18日（日）、場所：木曾川源流ふれあい館（味噌川ダムの資料館）

・作品の返却について：返却希望の方は作品展終了後、宅配便着払いでお返しします。

審査と表彰について

審査の観点

・創造性に富んでいるか

・電動糸ノコの特性を生かしているか。

賞：糸ノコ大賞、匠賞、カラマツ賞、ヒノキ賞、こども大賞、ユタカ賞
その他にもたくさんの賞を用意しております。

賞品

（株）ユタカ、糸のこ機械YSC-500、YC-50F、YA-50F、YM320F
自動カンナMS330GT、中型木工旋盤、その他にもたくさんの賞品を用意しております。。

審査員

水の始発駅フォーラム、木祖村、木曾地方事務所、水資源機構味噌川ダム管理所、（有）源流、奥木曾グリーンリゾート（株）、ナルカリクラフト、糸ノコおもちゃコンテスト実行委員会、（株）ユタカ

審査発表と表彰

・10月11日（日）第4回糸ノコおもちゃフェスティバル（こだまの森）で発表・表彰を行います。

・入賞者には事前連絡をします。



2007年度ヒノキ賞



2007年度ユタカ賞



2008年度カラマツ賞



使用材料

10cm×10cm×1.5cmの
ヒノキかカラマツ
車輪、軸棒（ブナ）の
使用は自由。

間伐材てなに？

人工的に育てる木は最初はわざと混んだ状態で植えます。それは、お互いに競争させることで、まっすぐな材に育てるためです。20年くらいたつと木と木と間がせまくなり、光や水養分がいきわたらなくなり、成長がおとろえてしまいます。そこで、成長をよくするために、なるべくよい木を残し曲がっている木などを切り本数を減らします。これを『間伐』といいます。間伐すると、林の中まで光が届くようになり、木はのびのびと育つことにより、じょうぶな森林になり、木が太くなることで木材としての価値も高まります。

戦後日本中の山で、戦争中の物資や復興のために大量に伐採されたはげ山に木を植えました。現在その木は50年生前後に育ち、間伐する時期を迎えています。しかし、切り出される間伐材はあまり使われず、使用する木材の8割を外国から輸入された材に頼っているのが現状です。

山を元気にするために「糸ノコおもちゃコンテスト」に参加して間伐材を使いましょう！